

## 令和7年度小松市立国府小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p>＜児童が安心できる学級づくり、学校づくりの推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やかたシート」を活用し、学級目標の設定とふり返りを継続的に行い、年間を通して学級目標に迫る。</li> <li>・たてわり遊び等の異学年交流を通して高学年のリーダー性を育むと共に、より良い活動をするために考え方できる機会とする。</li> <li>・企画運営委員会を中心に、自分達で学校をよくしようという思いを全校で共有し、仲間のよさを認め合う場を設ける。</li> </ul>		
特別支援教育	<p>＜支援を必要とする児童に対して組織的な支援を図る＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期1回（6月、10月、2月）に特別支援教育校内支援委員会全体会を行い、実態把握・指導支援についての検討及び支援の充実を図る。</li> <li>・個別の教育支援計画を作成しなければならない児童には、担任が保護者と懇談の機会を持ち、作成する。（1学期前半）また、2学期末以降、年度内に次年度の目標について再び保護者と担任とで話し合い、方向性を決めておき、次年度に申し送る。</li> <li>・外部機関とも連携を取り支援を検討する。</li> </ul>		
道徳教育	<p>＜発達段階に応じた道徳教育を推進する＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップをもとに、発達段階を考慮して、重点目標と各教科、特別活動を関連させて道徳教育を行う。</li> <li>・授業公開や道徳ファミリートークの機会を設定し、家庭・地域との連携を図る。</li> </ul>		
読書教育	<p>＜読書の質的な向上を図る＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書担当と図書館司書が連携を図り、多読者表彰（年度末）、図書委員主催の取り組みを行い、読書の質的向上を図る。</li> <li>・「本のとびら」「この本読もう」を活用し、読書の質を上げる。</li> </ul>		
保健健康教育	<p>＜心身の健康や運動に关心をもち、健康への意識向上を図る＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導や保健委員会の活動を通して、規則正しい生活習慣の実践と健康な体づくりに取り組む。</li> <li>・学校保健委員会を通して育友会と連携し、親子が心身の健康についてともに学ぶ機会を作る。</li> <li>・持久走記録会を中心に、「持久力アップ大作戦」として年間を通して運動する機会を作り、体力の向上を図る。</li> </ul>		
情報教育	<p>＜ICTの効果的な活用を図る＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は「GIGA校内研修年間計画」に基づき、授業のねらいに応じたICT活用を効果的にデザインできるよう、授業実践交流や校内研修を継続し、専門性を高める。また、個別最適な学びを促すICT活用を授業に取り入れる。</li> <li>・児童は学習目標達成のため、ICTを活用して主体的に学びを選択し、協働的な学びを深める。また、学習課題に応じたICT活用を自分で判断し、自己調整的な学びを充実させる。</li> </ul>		
家庭・地域との連携	<p>＜家庭・地域の力を生かした教育活動の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域の力を生かした活動を教育課程に位置づける。</li> <li>・学習目標を明確にし、地域の自然や文化について学ぶ機会を設ける。</li> </ul>		

学校関係者評価	
---------	--